



文章名: NWM-README_TB_ML_1-2-0-102c

発行日: 2010年11月

© 2010 L-ACOUSTICS®. All rights reserved. No part of this publication may be reproduced or transmitted in any form or by any means without the express written consent of the publisher.

I 一般情報

1.1 ウェブリンク

LA NETWORK MANAGER Software pack はwww.l-acoustics.com/la-network-manager (SOFTWARE DOWNLOAD)からダウンロードすることができます(ソフトウェアのダウンロード)。このパックには以下のファイルが含まれています:

LA_Network_Manager_With_Addons_1-2-0-102c.exe	LA NETWORK MANAGER, LA AES3 MONITOR, and LA FIRMWARE UPDATER のインストールプログラム
LA NETWORK MANAGER README Technical bulletin	この情報文書

本文書は下記の文書についても言及しています:

MULTIPLE GROUP SYSTEMS Technical bulletin	www.l-acoustics.com/download (Technical publications)
LA AES3 MONITOR Technical bulletin	www.l-acoustics.com/la-aes3 (REMOTE CONTROL)
LA4 FIRMWARE Pack	www.l-acoustics.com/la4 (LA4 FIRMWARE)
LA8 FIRMWARE Pack	www.l-acoustics.com/la8 (LA8 FIRMWARE)

1.2 一般的な注意事項



MULTIPLE GROUP SYSTEMS Technical bulletin [1.1] を参照し、多数のアンプリファイド・コントローラを構成するネットワークを正確にインストールしてください(以降、ユニットと呼びます)。



LA AES3 MONITOR と LA FIRMWARE UPDATER は、LA NETWORK MANAGER として同じネットワーク・コミュニケーション・スタックを使用しません。結果として、これらのアプリケーションのオンライン/オフラインステータスは、LA NETWORK MANAGER のオンライン/オフラインステータスとは無関係となります。



LA NETWORK MANAGER (NWM)はマルチプル・セッションのコンフィギュレーションを完全には サポートしません。結果として、ネットワーク上では 1 台のコンピュータを使用し、NWM は 1 つだけ起動するようにしてください。



L-NET ネットワーク上のすべてのユニットを、ファームウェア バージョン 1.4.1.23 にアップデートするまで、LA AES3 MONITOR を起動しないでください。

1.3 履歴

LA NETWORK MANAGER の過去のバージョン: 2007年10月 Version 1.1.0.45

LA FIRMWARE UPDATER and LA AES3 MONITOR に過去のバージョンはありません。

1.4 互換性

LA NETWORK MANAGER Software pack は下記のプラットフォームでテストされています:

- Windows® XP® Home and Professional, Vista®, and 32/64-bit Seven®



2 新しい機能

LA NETWORK MANAGER バージョン 1.2.0.102 は、LA FIRMWARE UPDATER 1.1 と LA AES3 MONITOR 1.1 ソフトウェアのアドオンと関連しています。

LA FIRMWARE UPDATER 1.1 は以下の機能を備えています(**LA4 FIRMWARE Pack** と **LA8 FIRMWARE Pack[1.1]**の両方に含まれている **LA4-8 FIRMWARE UPDATE Technical bulletin** を参照):

- ファームウェアのインストール (ファームウェアに含まれている場合、プリセットライブラリー)。
- データ転送とインストールにおける信頼性の向上
- 人間工学的なインタフェース

LA AES3 MONITOR 1.1 は、LA-AES3 が組み込まれ、L-NET ネットワークに接続されたユニットについて、下記の機能を備えています(**LA AES3 MONITOR Technical bulletin [1.1]**を参照):

- リアルタイムでの AES/EBU ステータスの視覚化
- アナログ、または AES/EBU のインプットモードの選択
- **アナログ・フォールバック** オプションのイネイブルとディスエイブル
- AES/EBU のインプットゲインのセッティング

3 確認されている問題点

LA NETWORK MANAGER 1.2.0.102 には下記の問題点が確認されています:

- スタンバイモードのユニットの **LOAD** LED 4 つの内、3 つしか点灯しない。
- ユニットがリスタートされている時に(切断されているユニットのウィンドウの)**Reconnect** キー上を繰り返しクリックすると、**プリセットネーム**と**プリセットファミリー**がデリートされることがある。そのような状況の場合、ユニットにファームウェアを再インストールしなくてはなりません。素早い一時的な解決法として、LA NETWORK MANAGER を使用しているコンピュータに保存されているライブラリーから使用するプリセットをロードする方法があります。
- ユニートを切断し、新しい**プリセット**または新しい**アウトプット・チャンネル**をロードし、そのユニットをモディファイした後は、決して**オンラインモード**でユニットに **Try to Connect** 機能を使用しないでください。これを行うと、いくつかのパラメーターが**フィジカルユニット**に対しアップデートされず、スピーカーに損傷を起こす可能性があります。**オフライン**で修正が行われていないことを条件に、失われた接続を回復するときのみ、**Try to Connect** を使用してください。
- **トータル・インプット・ゲイン(グループゲイン + インプット・チャンネル・ゲイン)**が 15dB を越えることができなくても、LA NETWORK MANAGER の値を設定し、より高い**トータル・インプット・ゲイン**を生み出すことは可能です。この場合、**フィジカルユニット**内ではいずれの設定も適用されず、ユーザーはこれについて警告を受けることはありません。
- LA-AES3 に設定された AES/EBU のインプット・ゲインが、**Show System Resources** と **コンター EQ** のセクションのヘッドルームの算出では考慮されない。AES/EBU インプットが選択されている場合、実際のヘッドルームの値は、LA NETWORK MANAGER で算出されたヘッドルームに対し、AES/EBU のインプット・ゲインの値を差し引くことで得られません。



- コンター-EQ:
 - 矢印上を繰り返し素早くクリックして、**コンター-EQ** ウィンドウの FIR フィルターのゲイン値を修正しようとすると、LA NETWORK MANAGER がフリーズする。3 秒以上これを行うと、関連するグループの**ユニット**を切断する。0.1dB よりも大きいステップが必要な場合、関連するセルに任意の値を入力することをお勧めします。
 - 12XT と 115XT HiQ のモニタープリセットで、LF のリソースのインディケーションが、LF セクションのゲインの変更を追跡しない。
 - [dV-S_100]、[dV-S_60_X]または[dV-S_X]プリセットを含むグループには、リソース・インディケーションが使用できない。
 - L-DRIVE の**エクスカーション**のリミッターが**ユニット**のどのチャンネル上でも起動されない場合、その**ユニット**上で、L-DRIVE の**温度**リミッターが同時に起動していると何も表示されない(**リミット LED** が点灯しない)。

LA FIRMWARE UPDATER 1.1 には下記の問題点が確認されています:

- バージョン 1.3 よりも古いファームウェアを搭載した**ユニット**はプリセット情報の代わりに **Error24** のメッセージを表示する。ファームウェアが適切にアップデートされていれば、この問題は発生しません。

LA AES3 MONITOR 1.1 について、現在まで問題点は確認されていません。